

平成20年3月17日
健康福祉事業本部
福祉部高齢社会対策課

検討課題（テーマ）「高齢者の社会参加」について

1 「第3期練馬区高齢者保健福祉計画」個別事業の進捗状況

※施策分野Ⅰ『多様な社会参加の促進』のみ抽出

| 掲載頁 | 個別事業 | 平成18～20年度の 整備量・事業量【目標】 | 平成18年度末実績 | 平成20年度末見込み |
|-----|----------------------|--|--|---|
| 23 | 社会参加ガイドブックの作成 | 社会参加ガイドブックの作成 | 未実施 | 平成20年3月発行予定 (平成19年10月～編集作業開始) |
| 24 | (仮称)地域福祉パワーアップカレッジ事業 | カレッジ開設・2コース設置／20年度 | 7月 検討委員会(16名)設置 12月 検討委員会報告書提出 3月 基本計画策定 名称を「地域福祉パワーアップカレッジねりま」とした。 | 平成19年度10月 カレッジ開設・第1期生入学(1クラス26名) 平成20年度10月 第2期生入学 (2クラス40名程度) |
| 24 | 老人クラブへの支援 | 老人クラブ会員数 16,000人／20年度 | 老人クラブ会員数 12,016人／18年度 | 老人クラブ会員数13,000人 ／19年度 老人クラブ会員数15,000人 ／20年度 |
| 24 | 高齢者サークルへの支援 | 助成団体数25件／年 | 助成団体数21件／年 | 平成19年度 助成団体数25件／年 平成20年度 助成団体数30件／年 |
| 25 | 講座(高齢者センター) | 教養講座・各種教室の 件数50件／20年度。 参加延べ人数 3,200人／20年度 | 教養講座・各種教室の 件数107件／18年度 参加延べ人数 16,312人／18年度 | 教養講座・各種教室件数 110件／20年度 参加延べ人数 16,500人／20年度 |
| 25 | 寿大学 | 参加者延べ人数4,400人 ／年 | 参加者延べ人数4,628人 | 参加者延べ人数4,500人 ／年 |

| 掲載頁 | 個別事業 | 平成18～20年度の 整備量・事業量【目標】 | 平成18年度末実績 | 平成20年度末見込み |
|-----|--|--|----------------------------|--|
| 25 | 寿大学 通信講座 | 参加者延べ人数6,290人 ／年 | 参加者延べ人数7,141人 | 参加者延べ人数7,000人／ 年 |
| 25 | 人材情報バ ンク(「区民 発」生涯学 習出前講 座) | 登録講座数 110講座／20年度 | 登録講座数 100講座 | 登録講座数 110講座／20年度 |
| 26 | シルバー人 材センター への支援 | 会員数3,780人／20年度 就業実人員2,646人 ／20年度 | ・会員数3,328人 ・就業実人員2,526人 | ・会員数3,780人／20年度 ・就業実人員2,646人 ／20年度 |
| 26 | アクティブシ ニア支援事 業への支援 | 就職率50％／年 | 就職率39.4% | 就職率50％／年 |

2 委員意見(第2回懇談会までに出された意見)

- ①既存の「出前講座」は、問合せがあったときに紹介をするのみである。人材を登録するだけでなく、地域のニーズを積極的に把握し、人材と地域の結びつけを図ることが重要だ。人材と行政で推進委員会等を設置し、検討してはどうか。
- ②社会参加、特に「地域貢献」に結びつく社会参加を積極的に支援すべきである。
- ③人材登録制度について、賃金をもらう形態のあっせんの場合、シルバー人材センターの事業と重複してしまう。基本的にはボランティアが望ましい。
- ④職業あるいは子育て等の経験のある方の知識を活用する人材登録制度をつくってはどうか。また、仕事を続ける母親等の支援事業へ活用してはどうか。子育てをしやすい社会形成への貢献にもなる。
- ⑤人材登録がしやすいよう、年金の手続きなど、他の用事で出かけたときに、ついでに登録できるような工夫が必要だ。
- ⑥若年層と高齢者の交流の機会を設けるべきだ。一部の高齢者センター・地区区民館・学校では既に実施されているが、さらに充実を図るべきだ。